

大田区生活状況に関する調査
報 告 書

令和3年3月

大 田 区

はじめに

ひきこもりは、主に若者の問題と捉えられてきたが、ひきこもりの長期化により、近年は若年層だけでなく幅広い年代の問題へと拡大し、ひきこもりに関する課題は、教育、福祉、就労、医療など多岐にわたっている。

内閣府が平成 27 年度に満 15 歳から満 39 歳までの者を対象に実施した「若者の生活に関する調査」では、全国でひきこもりの若者の推計値は約 54 万 1 千人とされ、ひきこもりの長期化傾向がうかがわれた。また、内閣府が平成 30 年度に実施した満 40 歳から満 64 歳までの者を対象とした「生活状況に関する調査」では、ひきこもり状態にある者の全国の推計値は 61 万 3 千人であり、ひきこもりはどの年齢層からでも多様なきっかけでなりうるものと報告された。

大田区では、「おおた重点プログラム」において、誰もが自分らしく健康で生きがいをもって暮らせるまちを目指し、ひきこもりの方への支援の充実を計画事業に位置づけている。また、「おおた健康プラン（第三次）」においても、ひきこもりの方や家族が孤立しない地域の実現を目指し、ひきこもりの方への支援について重点的に取り組む事業としている。

こうした状況を踏まえ、本調査は、大田区内に居住する満 15 歳から満 64 歳までの者及びその同居者を対象に、ひきこもりに該当する者の人数やひきこもりの状況になったきっかけ、必要とする支援など、大田区のひきこもりの方への支援の在り方を検討するための基礎データを得ることを目的として、内閣府の調査を参考に実施した。

令和 3 年 3 月

目次

はじめに

1 調査概要	1
1-1 目的	1
1-2 調査方法.....	1
1-3 回収状況.....	2
2 定義	4
2-1 広義のひきこもり群（本人票）	4
2-2 ひきこもり親和群（本人票）	5
2-3 一般群（本人票）	6
2-4 過去に広義のひきこもり群であったと思われる人の群（本人票）	6
2-5 ひきこもり潜在群（同居人票）	7
2-6 同居人一般群（同居人票）	8
2-7 同居人からみた過去に広義のひきこもり群であったと思われる人の群（同居人票）	9
3 調査結果	10
3-1 本人票	10
3-2 同居人票.....	119
4 まとめ	137
5 調査票	139
5-1 本人票	139
5-2 同居人票.....	153

1 調査概要

1-1 目的

区民の生活状況を把握し、今後の大田区精神保健福祉事業の推進に向けて、ひきこもり等に対する支援の在り方を検討するための基礎資料作成を目的とした。

1-2 調査方法

調査対象 ・調査数	大田区在住の満 15 歳から満 64 歳までの方から無作為抽出した 5,000 人 およびその同居人（外国籍の方は除く）（注 1）
調査方法	調査票を郵送配布し、郵送及びインターネットにより回収
調査期間	令和 2 年 12 月 1 日（火）～12 月 28 日（月）

注 1：下記表のとおり、大田区内を特別出張所の管轄ごとに 4 地区に分けて、令和 2 年 10 月 1 日時点の地区ごとの人口規模に応じて抽出人数を比例配分し、無作為抽出した。

大森地区	調布地区	蒲田地区	糀谷・羽田地区
（特別出張所管轄） 池上 新井宿 馬込 入新井 大森西	（特別出張所管轄） 久が原 雪谷 鵜の木 田園調布 嶺町 千束	（特別出張所管轄） 蒲田東 矢口 蒲田西 六郷	（特別出張所管轄） 大森東 羽田 糀谷

	地区別人口	配分比例	抽出人数
大森地区	145,478	31.0%	1,551
調布地区	122,236	26.1%	1,303
蒲田地区	138,420	29.5%	1,476
糀谷・羽田地区	62,823	13.4%	670
合計	468,957	100.0%	5,000

1-3 回収状況

■ 本人票

回収方法	配布数	回収数	回収率
郵送		963	
インターネット		543	
合計	5,000	1,506	30.1%

■ 同居人票

回収方法	配布数	回収数	回収率
郵送		639	
インターネット		215	
合計	5,000	854	17.1%

■ 年齢別回収状況

○本人票

	郵送		インターネット		標本数	回収率
	回収数	割合	回収数	割合		
15～19歳	50	5.2%	29	5.3%	270	29.3%
20～24歳	52	5.4%	51	9.4%	435	23.7%
25～29歳	81	8.4%	77	14.2%	567	27.9%
30～34歳	77	8.0%	75	13.8%	506	30.0%
35～39歳	100	10.4%	66	12.2%	538	30.9%
40～44歳	97	10.1%	66	12.2%	533	30.6%
45～49歳	115	11.9%	79	14.5%	654	29.7%
50～54歳	124	12.9%	41	7.6%	559	29.5%
55～59歳	107	11.1%	37	6.8%	471	30.6%
60～64歳	158	16.4%	22	4.1%	467	38.5%
無回答	2	0.2%	0	0.0%	0	—
合計	963	100.0%	543	100.0%	5,000	30.1%

○同居人票（調査対象者の年齢別に表示）

	郵送		インターネット	
	回収数	割合	回収数	割合
15～19 歳	45	7.0%	18	8.4%
20～24 歳	42	6.6%	5	2.3%
25～29 歳	39	6.1%	20	9.3%
30～34 歳	45	7.0%	41	19.1%
35～39 歳	74	11.6%	25	11.6%
40～44 歳	59	9.2%	34	15.8%
45～49 歳	79	12.4%	34	15.8%
50～54 歳	72	11.3%	20	9.3%
55～59 歳	81	12.7%	10	4.7%
60～64 歳	89	13.9%	8	3.7%
無回答	14	2.2%	0	0.0%
合計	639	100.0%	215	100.0%

2 定義

2-1 広義のひきこもり群（本人票）

内閣府の調査を参照し、次の設問から「広義のひきこもり群」（以下、「ひきこもり群」という。）について抽出を行った。

「Q21 ふだんどのくらい外出しますか。」との問いについて、下記の5～8に当てはまる方であって、「Q22 現在の状態となってどのくらい経ちますか。」との問いについて6ヶ月以上と回答した方

- 5 ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のみときだけ外出する
- 6 ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
- 7 自室からは出るが、家からは出ない
- 8 自室からほとんど出ない

ただし、次のア～エのいずれかに該当する方はひきこもりには該当しない方として除く。

ア 下記の①～③のいずれかに該当する方

- ① 「Q14 あなたの現在の就労・就学等の状況についてお答えください。」との問いに、「1 勤めている（正社員）」、「2 勤めている（契約社員、派遣社員またはパート、アルバイト（学生のアルバイトは除く）」又は「3 自営業・自由業」を選択した方
- ② 「Q19 ふだんご自宅にいるときに、よくしていることすべてに○をつけてください。」との問いに、「7 仕事をする」を選択した方
- ③ 「Q26 現在の状態になったきっかけは何ですか。」との問いに、「16 その他（具体的に： ）」を選択し、（ ）に自宅で仕事をしている旨を記入した方

イ 下記の①～③のいずれかに該当する方で、「Q25 最近6ヶ月間に家族以外の人と会話しましたか。」の問いに、「1 よく会話した」又は「2 ときどき会話した」を選択した方

- ① 「Q14 あなたの現在の就労・就学等の状況についてお答えください。」との問いに、「6 専業主婦・主夫」又は「7 家事手伝い」を選択した方
- ② 「Q19 ふだんご自宅にいるときに、よくしていることすべてに○をつけてください。」との問いに、「8 家事をする」、「9 育児をする」又は「10 介護・看護をする」を選択した方
- ③ 「Q26 現在の状態になったきっかけは何ですか。」との問いに、「10 妊娠したこと」若しくは「12 介護・看護を担うことになったこと」を選択した方、又は「16 その他（具体的に： ）」を選択し、（ ）に出産・育児をしている旨を記入した方

ウ 「Q26 現在の状態になったきっかけは何ですか。」との問いに、「9 病気（病名： ）」を選択し、（ ）に身体的病気を記入した方

エ 「Q26 現在の状態になったきっかけは何ですか。」との問いに、「13 新型コロナウイルスに関すること（具体的に： ）」を選択し、（ ）に「オンライン授業」「外出自粛（緊急事態宣言）」等、明らかに新型コロナウイルスに関する自粛を理由として記入した方

⇒**該当者 20人**（有効回収数に占める割合 1.33%）

<ひきこもり群の推計値>

該当者 20 人のうち、Q21 で 6、7 又は 8 に該当する方を「狭義のひきこもり」、Q21 で 5 に該当する方を「準ひきこもり」とし、「狭義のひきこもり」と「準ひきこもり」の合計を「広義のひきこもり」とする。

なお、Q25 で家族以外の人との会話の頻度が少なく、Q14、Q19、Q26 の回答に「専業主婦・主夫」、「家事手伝い」「家事をする、育児をする」等を選択又は記入した方はひきこもり群 20 人中 7 人であった。

大田区住民基本台帳（令和 2 年 10 月 1 日時点）によれば、満 15～64 歳人口は 468,957 人となっており、ひきこもり群の推計値は以下の計算により 6,228 人となる。

有効回収数に占める割合（ひきこもり群の該当人数：20 人/有効回収数：1,506 人）

$$\times \text{満 15～64 歳人口：468,957 人} = \text{推計値：6,228 人}$$

	〔 該当人数 (人) 〕	〔 有効回収数に 占める割合 (%) 〕	〔 大田区の推計数 (人) 〕	
ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のみだけ外出する	10	0.66	3,114	準ひきこもり 3,114人
ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける	10	0.66	3,114	
自室からは出るが、家からは出ない	0	0	0	狭義のひきこもり 3,114人
自室からほとんど出ない	0	0	0	
計	20	1.33	6,228人	広義のひきこもり 6,228人

注) 単位未満は四捨五入してあるため、合計の数字と内訳の計が一致しない場合がある。

2-2 ひきこもり親和群（本人票）

内閣府の調査を参照し、「ひきこもりを共感・理解し、ともすると閉じこもりたいと思うことがある人たち」を「ひきこもり親和群」（以下、「親和群」という。）として、次の設問から抽出を行った。

「Q38 次にあげられたことについて、あなた自身にあてはまるものに○をつけてください。」との問いについて、下記の(13)～(16)の4項目が、すべて「1 はい」又は1項目のみ「2 どちらかといえば、はい」と回答した方から「ひきこもり群」を除いた方

(13) 家や自室に閉じこもっていて、外に出ない人たちの気持ちがわかる

(14) 自分も、家や自室に閉じこもりたいと思うことがある

(15) 嫌な出来事があると、外に出たくなくなる

(16) 理由があるなら、家や自室に閉じこもるのも仕方がないと思う

⇒該当者 80人

2-3 一般群（本人票）

本人票の回答者全体から、「2-1 広義のひきこもり群」と「2-2 ひきこもり親和群」を除き「一般群」とした。

⇒該当者 1,406人

2-4 過去に広義のひきこもり群であったと思われる人の群（本人票）

内閣府の調査を参照し、以下のように定義する。

本人票「Q33 あなたは今までに6か月以上連続して、以下のような状態になったことはありますか。」との問いについて、下記の1～4に当てはまる方

- 1 ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する
- 2 ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
- 3 自室からは出るが、家からは出ない
- 4 自室からほとんど出ない

ただし、次のア～エのいずれかに該当する方は過去に広義のひきこもり群であったと思われる人の群には該当しない方として除く。

ア 本人票「Q33 あなたは今までに6か月以上連続して、以下のような状態になったことはありますか。」との問いについて、「1 ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」に当てはまる方であって、かつ、同居人票「Q19 調査対象の方は今までに6か月以上連続して、以下のような状態になったことはありますか。」について、「5 1～4のような状態に6か月以上連続してなったことはない」に当てはまる方

イ 本人票「Q36 その状態になったきっかけは何でしたか。」との問いに、「14 その他（具体的に：）」を選択し、（ ）に自宅で仕事をしている旨を記入した方

ウ 本人票「Q36 その状態になったきっかけは何でしたか。」との問いに、「9 病気（病名：）」を選択し、（ ）に身体的病気を記入、又は、「10 妊娠したこと」を選択した方

エ 本人票「Q36 その状態になったきっかけは何でしたか。」との問いに、「13 新型コロナウイルスに関すること（具体的に：）」を選択し、（ ）に「オンライン授業」「外出自粛（緊急事態宣言）」等、明らかに新型コロナウイルスに関する自粛を理由として記入した方

⇒該当者 68人

2-5 ひきこもり潜在群（同居人票）

同居人票の有効回収数の中で、調査対象（本人）が「2-1 広義のひきこもり群」に近い状態にある方を「ひきこもり潜在群」として、次の設問から抽出を行った。

「Q9 調査対象の方は、ふだんどのくらい外出しますか。」との問いについて、下記の5～8に当てはまる方であって、「Q10 調査対象の方が、現在の状態となってどのくらい経ちますか。」との問いについて6ヶ月以上と回答した方

- 5 ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する
- 6 ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
- 7 自室からは出るが、家からは出ない
- 8 自室からほとんど出ない

ただし、次のア～エのいずれかに該当する方はひきこもり潜在群には該当しない方として除く。

ア 下記の①～②のいずれかに該当する方

- ① 「Q8 調査対象の方の現在の就労・就学等の状況についてお答えください。」との問いに、「1 勤めている（正社員）」、「2 勤めている（契約社員、派遣社員またはパート、アルバイト（学生のアルバイトは除く）」又は「3 自営業・自由業」を選択した方
- ② 「Q13 調査対象の方が現在の状態になったきっかけは何ですか。」との問いに、「16 その他（具体的に： ）」を選択し、（ ）に自宅で仕事をしている旨を記入した方

イ 下記の①～②のいずれかに該当する方

- ① 「Q8 調査対象の方の現在の就労・就学等の状況についてお答えください。」との問いに、「6 専業主婦・主夫」又は「7 家事手伝い」を選択した方
- ② 「Q13 調査対象の方が現在の状態になったきっかけは何ですか。」との問いに、「10 妊娠したこと」若しくは「12 介護・看護を担うことになったこと」を選択した方、又は「16 その他（具体的に： ）」を選択し、（ ）に出産・育児をしている旨を記入した方

ウ 「Q13 調査対象の方が現在の状態になったきっかけは何ですか。」との問いに、「9 病気（病名： ）」を選択し、（ ）に身体的病気を記入した方

エ 「Q13 調査対象の方が現在の状態になったきっかけは何ですか。」との問いに、「13 新型コロナウイルスに関すること（具体的に： ）」を選択し、（ ）に「オンライン授業」「外出自粛（緊急事態宣言）」等、明らかに新型コロナウイルスに関する自粛を理由として記入した方

⇒**該当者 7人**（有効回収数に占める割合 0.82%）

＜ひきこもり潜在群の推計値＞

大田区住民基本台帳（令和2年10月1日時点）によれば、満15～64歳人口は468,957人となっており、ひきこもり潜在群の推計値は以下の計算により3,844人となる。

有効回収数に占める割合（ひきこもり潜在群の該当人数：7人/有効回収数：854人）
 × 満15～64歳人口：468,957人 = 推計値：3,844人

	〔 該当人数 （人） 〕	〔 有効回収数に 占める割合（％） 〕	〔 大田区の推計数 （人） 〕	
ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する	2	0.23	1,098	準ひきこもり 1,098人
ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける	5	0.59	2,746	
自室からは出るが、家からは出ない	0	0	0	狭義のひきこもり 2,746人
自室からほとんど出ない	0	0	0	
計	7	0.82	3,844	広義のひきこもり 3,844人

注）単位未満は四捨五入してあるため、合計の数字と内訳の計が一致しない場合がある。

2-6 同居人一般群（同居人票）

同居人票の回答者全体から、「2-5ひきこもり潜在群」を除き「同居人一般群」とした。
 ⇒該当者 847人

2-7 同居人からみた過去に広義のひきこもり群であったと思われる人の群（同居人票）

以下のように定義する。

同居人票「Q19 調査対象の方は今までに6か月以上連続して、以下のような状態になったことはありますか。」との問いについて、下記の1～4に当てはまる方

- 1 ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する
- 2 ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
- 3 自室からは出るが、家からは出ない
- 4 自室からほとんど出ない

ただし、次のア～エのいずれかに該当する方は同居人からみた過去に広義のひきこもり群であったと思われる人の群には該当しない方として除く。

ア 同居人票「Q19 調査対象の方は今までに6か月以上連続して、以下のような状態になったことはありますか。」との問いについて、「1 ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」に当てはまる方であって、かつ、本人票「Q33 あなたは今までに6か月以上連続して、以下のような状態になったことはありますか。」について、「5 1～4のような状態に6か月以上連続してなったことはない」に当てはまる方

イ 同居人票「Q22 調査対象の方がその状態になったきっかけは何でしたか。」との問いに、「14 その他（具体的に： ）」を選択し、（ ）に自宅で仕事をしている旨を記入した方

ウ 同居人票「Q22 調査対象の方がその状態になったきっかけは何でしたか。」との問いに、「9 病気（病名： ）」を選択し、（ ）に身体的病気を記入、又は、「10 妊娠したこと」を選択した方

エ 同居人票「Q22 調査対象の方がその状態になったきっかけは何でしたか。」との問いに、「13 新型コロナウイルスに関すること（具体的に： ）」を選択し、（ ）に「オンライン授業」「外出自粛（緊急事態宣言）」等、明らかに新型コロナウイルスに関する自粛を理由として記入した方

⇒該当者 20人